

▼トルク感がどこまでも続くので高速の合流や追い越しでもストレスを感じない。(写真は4本出しテール部ポリッシュタイプ装着車)。



動画はコチラ→

04
Parts

Holiday Auto

INFO
SQUARE+
インフォ・スクエアプラス

GANADOR

ガナドール
P.B.Sマフラー
新型プリウス用

■問い合わせ先：(株) マツショウ
ガナドール事業部 ☎048-935-1130
■ホームページ <http://www.ganador.co.jp>



新型プリウスの馬力と燃費が大幅に向上 機能と品質で選べばP.B.Sマフラーでキマリ!

せ っかくハイブリッド車に乗っているのだから、少しでも燃費は良くしたい...そんな想いの新型プリウス・オーナーにご紹介したいのが、本誌でもお馴染みのガナドールP.B.Sマフラーだ。エンジン負荷を低減し、潜在性能をフルに引き出す車種別専用サイレンサーと排気効率を向上させるスパイラルフィン (P.B.S=パワー・ブースト・システム) の相乗効果で、全回転域での出力アップを実現しているスグレモノ。果たしてその効果はいかに?

走り出すと、その違いはすぐに体感できた。加速感がダイレクトなのだ。ノーマルはパワートレインの特性からか、加速途中でトルクが落ち込むような奇妙な癖があるのだが、ガナドールP.B.Sマフラー装着車は、まるで足の裏にアクセルが張り付いているかのようなリニアな加速に仕上げられている。とにかく車速の乗りがいい。この特性は、特に高速の合流や追い越しで効果的だ。スピードコントロールが容易になり、スムーズに合流や追い越しができる。

高速を下りて、山岳路を走ってみると、その効果はさらにはっきりする。ほぼエンジンは回りっぱなしの状況ながら、トルク



▲もちろんプリウス初の4WD用もラインアップ (写真は右ダブル出しタイプ装着車)。

4本出し(2WD用/4WD用)

テール部チタニウム製ブルー
13万5000円 (税抜)

4本出し (2WD用/4WD用)

テール部ポリッシュ 11万5000円 (税抜)

の出方がスムーズなので、アクセルでクルマの姿勢をコントロールできる。

サウンドはざらついた感じのするノーマルから一転、ジェントルで品のある低音の効いたものに変化していた。車内の静粛性は変わらず音量自体に差は感じなかったが、旧型に比べてすべてがグレードアップした新型にふさわしい音質だと思う。

ちなみにガナドールでは開発にあたって、まずノーマル車を徹底的に解析する。市街地、高速道路、山岳路...速度、ガソリンの搭載量、天候や気温さえも揃えてデータ取りを行う。その結果、新型プリウスのノーマル車の平均燃費は22.8km/ℓと判明した(テスト車のグレードはS。JC08モード燃費は37.2km/ℓ)。

一方、ガナドールP.B.Sマフラー装着車では、同じく実走テストで26.0km/ℓを達成。ノーマルとまったく同じ条件で厳密にテストした数値だ。計算すると14.2%も向上していることになる。ちなみにベンチテストでは、エンジンのパワーで7.2ps、トルクも1.3kgmそれぞれ向上している。結果的にアクセルの開度や開けている時間が短縮されて燃費が向上するのだ。

それにしても、完成度の高い新型プリウスでさらにこれだけの燃費アップを実現し



たガナドールの技術力はまさしく本物。見た目のクオリティも高く、すべての新型プリウス・オーナーにオススメできる。



右ダブル出し(2WD用/4WD用)

テール部チタニウム製ブルー 7万3000円 (税抜)

右ダブル出し(2WD用/4WD用)

テール部ポリッシュ 6万3000円 (税抜)

